

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 4 部門第 1 区分

【発行日】令和 1 年 7 月 11 日 (2019.7.11)

【公表番号】特表 2017-525875 (P2017-525875A)

【公表日】平成 29 年 9 月 7 日 (2017.9.7)

【年通号数】公開・登録公報 2017-034

【出願番号】特願 2017-519988 (P2017-519988)

【国際特許分類】

E 0 4 D 5/12 (2006.01)

C 0 9 D 7/40 (2018.01)

C 0 9 D 201/00 (2006.01)

C 0 9 D 127/12 (2006.01)

C 0 9 D 133/16 (2006.01)

C 0 9 D 183/00 (2006.01)

C 0 9 D 5/00 (2006.01)

【F I】

E 0 4 D 5/12 A

C 0 9 D 7/12

C 0 9 D 201/00

C 0 9 D 127/12

C 0 9 D 133/16

C 0 9 D 183/00

C 0 9 D 5/00 Z

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 1 年 6 月 4 日 (2019.6.4)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

粒子が埋め込まれているビチューメン層を含むルーフコーティングであって、前記粒子は：

40～70重量%の粘土鉱物と；

0～32重量%の結晶質シリカと；

28～45重量%の長石と；

0～15重量%のその他の凝集体と；

の焼成混合物である粒子を含み、

前記焼成混合物は D I N 9 9 3 - 1 に従って測定した開放気孔率が 0～14容量%である、ルーフコーティング。

【請求項 2】

前記その他の凝集体は、アルミナ (A l ₂ O ₃)、長石以外の立体網目状ケイ酸塩 (t e c t o s i l i c a t e s)、及び粘土鉱物以外の層状ケイ酸塩 (p h y l l o s i l i c a t e s) からなる群より選択される少なくとも 1 種を含む、請求項 1 に記載のルーフコーティング。

【請求項 3】

前記粒子は粒径 (d ₅₀) が 0.1～3mm である、請求項 1 又は請求項 2 に記載のル

ーフコーティング。

【請求項 4】

前記粒子はルーフコーティング 1 m^2 あたり $0.5 \sim 5 \text{ kg}$ の量で存在する、請求項 1 ~ 請求項 3 のいずれか一項に記載のルーフコーティング。

【請求項 5】

前記粒子は粒子コーティングを有する、請求項 1 ~ 請求項 4 のいずれか一項に記載のルーフコーティング。

【請求項 6】

前記粒子コーティングは、ケイ素含有化合物、フッ素含有化合物、ケイ素 - フッ素含有化合物、及びそれらの混合物から選択される、請求項 5 に記載のルーフコーティング。

【請求項 7】

前記粒子コーティングはフッ素含有ポリマーを含む、請求項 5 又は請求項 6 に記載のルーフコーティング。

【請求項 8】

前記フッ素含有ポリマーは前記粒子に対して $0.1 \sim 2.0$ 重量%の量で存在する、請求項 7 に記載のルーフコーティング。

【請求項 9】

前記フッ素含有ポリマーは熱可塑性フッ素ポリマーである、請求項 7 又は請求項 8 に記載のルーフコーティング。

【請求項 10】

前記フッ素含有ポリマーはフッ素化(メタ)アクリレート又はフッ素化シリコンである、請求項 7 ~ 請求項 9 のいずれか一項に記載のルーフコーティング。

【請求項 11】

A S T M S t a n d a r d C 1 5 4 9 に従って測定した日射反射率が少なくとも 80% である、請求項 1 ~ 請求項 10 のいずれか一項に記載のルーフコーティング。

【請求項 12】

前記混合物は：

- 45 ~ 65 重量%の粘土鉱物と；
- 5 ~ 18 重量%の結晶質シリカと；
- 28 ~ 40 重量%の長石と；
- 0 ~ 10 重量%のその他の凝集体と；

を含む、請求項 1 ~ 請求項 11 のいずれか一項に記載のルーフコーティング。

【請求項 13】

a) 40 ~ 70 重量%の粘土鉱物と；
 0 ~ 32 重量%の結晶質シリカと；
 28 ~ 45 重量%の長石と；
 0 ~ 15 重量%のその他の凝集体と、
 の混合物を焼成することにより焼成混合物を得ること；

b) 前記焼成混合物を粉碎して粒子にすること；
 を含み、前記焼成混合物は D I N 9 9 3 - 1 に従って測定した開放気孔率が $0 \sim 14$ 容量%である、ルーフコーティングに含まれるビチューメン層に埋め込むための粒子の調製方法。

【請求項 14】

ビチューメン、特にルーフカバーリング用のビチューメン、に埋め込むための、
 40 ~ 70 重量%の粘土鉱物と；
 0 ~ 32 重量%の結晶質シリカと；
 28 ~ 45 重量%の長石と；
 0 ~ 15 重量%のその他の凝集体と；
 の焼成混合物である粒子の使用であって、
前記焼成混合物は D I N 9 9 3 - 1 に従って測定した開放気孔率が $0 \sim 14$ 容量%で

ある、粒子の使用。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0057

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0057】

全ての引用文献は、そのような開示が本発明の教示と矛盾しない限り、本開示に完全に含まれる。

本発明には、以下の態様が含まれる。

< 1 > 粒子が埋め込まれているビチューメン層を含むルーフコーティングであって、前記粒子は：

40 ~ 70 重量 % の粘土鉱物と；

0 ~ 32 重量 % の結晶質シリカと；

28 ~ 45 重量 % の長石と；

0 ~ 15 重量 % のその他の凝集体と；

の焼成混合物である粒子を含む、ルーフコーティング。

< 2 > 前記焼成混合物は DIN 993 - 1 に従って測定した開放気孔率が 0 ~ 14 容量 % である、< 1 > に記載のルーフコーティング。

< 3 > 前記粒子は粒径 (d₅₀) が 0.1 ~ 3 mm である、< 1 > 又は < 2 > に記載のルーフコーティング。

< 4 > 前記粒子はルーフコーティング 1 m² あたり 0.5 ~ 5 kg の量で存在する、< 1 > ~ < 3 > のいずれか一つに記載のルーフコーティング。

< 5 > 前記粒子は粒子コーティングを有する、< 1 > ~ < 4 > のいずれか一つに記載のルーフコーティング。

< 6 > 前記粒子コーティングは、ケイ素含有化合物、フッ素含有化合物、ケイ素 - フッ素含有化合物、及びそれらの混合物から選択される、< 5 > に記載のルーフコーティング。

< 7 > 前記粒子コーティングはフッ素含有ポリマーを含む、< 5 > 又は < 6 > に記載のルーフコーティング。

< 8 > 前記フッ素含有ポリマーは前記粒子に対して 0.1 ~ 2.0 重量 % の量で存在する、< 7 > に記載のルーフコーティング。

< 9 > 前記フッ素含有ポリマーは熱可塑性フッ素ポリマーである、< 7 > 又は < 8 > に記載のルーフコーティング。

< 10 > 前記フッ素含有ポリマーはフッ素化 (メタ) アクリレート又はフッ素化シリコンである、< 7 > ~ < 9 > のいずれか一つに記載のルーフコーティング。

< 11 > ASTM Standard C 1549 に従って測定した日射反射率が少なくとも 80 % である、< 1 > ~ < 10 > のいずれか一つに記載のルーフコーティング。

< 12 > 前記混合物は：

45 ~ 65 重量 % の粘土鉱物と；

5 ~ 18 重量 % の結晶質シリカと；

28 ~ 40 重量 % の長石と；

0 ~ 10 重量 % のその他の凝集体と；

を含む、< 1 > ~ < 11 > のいずれか一つに記載のルーフコーティング。

< 13 > a) 40 ~ 70 重量 % の粘土鉱物と；

0 ~ 32 重量 % の結晶質シリカと；

28 ~ 45 重量 % の長石と；

0 ~ 15 重量 % のその他の凝集体と、

の混合物を焼成すること；

b) 前記混合物を粉砕して粒子にすること；

を含む、粒子の調製方法。

< 1 4 > ピチューメン、特にルーフカバーリング用のピチューメン、に埋め込むための

、

4 0 ~ 7 0 重量 % の粘土鉱物と；

0 ~ 3 2 重量 % の結晶質シリカと；

2 8 ~ 4 5 重量 % の長石と；

0 ~ 1 5 重量 % のその他の凝集体と；

の焼成混合物である粒子の使用。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 4】

好ましくは、係る混合物は、焼成後における開放気孔率が 0 ~ 1 4 容量 %、又は 2 ~ 1 4 容量 % であり、好ましくは 4 ~ 1 0 容量 % である。気孔率は、D I N E N 9 9 3 - 1 「M e t h o d s o f t e s t f o r d e n s e s h a p e d r e f r a c t o r y p r o d u c t s - P a r t 1 : D e t e r m i n a t i o n o f b u l k d e n s i t y , a p p a r e n t p o r o s i t y a n d t r u e p o r o s i t y」に従って測定する。